

一般質問という名の政策提案



12月定例会は議員11名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質問事項
さいとう 斉藤 けん謙	<ol style="list-style-type: none"> ① 財政運営等に関して ② 新公会計制度等に関して ③ 学校のあり方検討等に関して
おかもと おか 本士 貴	<ol style="list-style-type: none"> ① 桑折町の歴史を全国へ、NHK 大河ドラマ誘致の取り組み
すずき 鈴木 隆 志	<ol style="list-style-type: none"> ① 感震ブレーカー設置について ② 高齢者の終活支援について ③ 図書室（遊学館よも〜よ）等の蔵書について ④ プラスチック資源循環促進法におけるプラ製品の分別回収について ⑤ 桑折町で栽培されている農産物の販売促進について
はんざわ 半沢 まさ保	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校施設整備と義務教育の将来像について ② 公共施設適正管理の課題について
さとう 佐藤 たけ 武 朗	<ol style="list-style-type: none"> ① 緊急を要する睦合・半田地区の熊対策について ② 新たな「地域おこし協力隊」の取り組みについて ③ 伊達・桑折インター周辺の三角地開発事業の進捗状況について
かわなみ 川名 しず子	<ol style="list-style-type: none"> ① 70周年記念の各種事業は、多くの町民参加を得た事業であったと捉えているか ② 団体加入や担い手不足解消には高齢社会・デジタル社会に沿う見直しが必要ではないか ③ 地域の安全安心を作るため住民自治協議会のあり方も含め見直しを図るべきではないか
はねだ 羽根田 ひとみ	<ol style="list-style-type: none"> ① 手話言語条例。今後の取り組み計画は ② 楽市楽座を開催しての効果はあったか ③ 防災スピーカーを使って、町民への連絡を ④ 奨学金返済支援制度の導入を ⑤ 町が目指す義務教育学校の特徴は
いしはた 石幡 まさ子	<ol style="list-style-type: none"> ① 桑折町防災対策における緊急時避難について ② 桑折町商業振興対策について ③ 学校教育環境の充実に関する取り組みにおける小・中学校の統合について
かわむら 川村 しげ道	<ol style="list-style-type: none"> ① 桑折町の小・中学校のありかたについて（提言）と義務教育学校設置について ② 本町の不登校に関連して ③ 本町の難聴者対策について ④ 本町のクマ対策について ⑤ 積雪時の除雪対応について
さいとう 齋藤 まつ夫	<ol style="list-style-type: none"> ① 桑折町立学校に関する町の方針（11月14日政策会議決定）について ② 熊出没から町民の身体、生命を守るための安全・安心確保体制確立について ③ 放任農地対策に係る現制度の活用と実績について ④ 町当局の「既議決事項否定質問ふさわしくない論」について
はんざわ 半沢 たかし 高	<ol style="list-style-type: none"> ① 建物賃貸事業最大手の企業による街のランキングをどう活かすか ② 熊被害対策について ③ 商店街の街路灯のあり方について ④ エリザベスタウン市との姉妹都市交流事業について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。



答弁 令和6年度で赤字を解消した

さいとう けん
齊藤 謙 議員

財政運営を
指す姿とは、財

町
長

政指標を用いた財政分析であり、分析視点はまず一つ目は、財政規律の堅持分析指標は実質収支比率、連結実質収支比率二つ目は、高品質な財政運営として、弾力性を見る、経常収支比率、公債費負担比率、実質公債費比率、三つ目は自律的な財政運営で、自主財源比率、地方税徴収率、一般財源比率、四つ目

は赤字を解消した。町民が安全・安心に暮らしている質の高い行政サービスを将来にわたって安定的に提供していくため、国や県の財源に過度に依存することなく、自らの判断と責任に基づき、持続可能な財政基盤を構築することが必要不可欠であり、引き続き、健全財政を維持してまいります。

都 道 府 県 名				団 体 名		市 町 村 類 型	Ⅲ－1
07				3016			
福島県				桑折町			
地方 交 付 税 種 地						2－2	
区 分							
令和 5 年 度 (千 円)							
収	歳 入	歳 出	総 額	6,381,871		7,495,459	
	歳 入	歳 出	差 引	6,176,383		7,054,553	
支	翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源	差 引	205,488	440,906			
	実 質	繰 越 す べ き 財 源	53,776	7,045			
状	単 年 度 収 支	繰 越 す べ き 財 源	151,712	433,861			
	単 年 度 収 支	繰 越 す べ き 財 源	-282,149	-150,146			
況	積 立 金 取 崩 し 額	繰 越 す べ き 財 源	1,245	1,245			
	繰 上 金 取 崩 し 額	繰 越 す べ き 財 源	-	-			
況	積 立 金 取 崩 し 額	繰 越 す べ き 財 源	-	-			
	実 質 単 年 度 収 支	繰 越 す べ き 財 源	-280,904	-148,901			

単年度収支・実質単年度収支は2年連続大幅赤字
(令和5年度決算カードより)

答弁 地元住民の理解促進を充分図っていく

これも 質 問

問 公会計を周知させること

答 会議で職員に周知を図る

小・中一貫校
と義務教育学校
を十分理解させ

教育長

小・中一貫校
と義務教育学校について、
別添配布の通りです。

中学校の部活動について部活


動推進する学校体制を
どのように構築してい
く考えなのか。

教育長

答 教員の働き方
改革や指導の専門性を
考慮し、従来の学校部
活動から、地域指導人
材を活用した地域クラ
ブ活動へ移行する「地
域展開」を目指してい
ます。

再編統合後の
学校施設等に関

教育長

 統合後の学校施設については、財政状況等を踏まえ、より良い学校環境の確保に向けて検討してまいります。

質問 桑折の歴史を大河ドラマで全国へ

答弁 100万筆署名で機運高める



おかもと たかし
岡本 貴士 議員


一般質問

問 「伊達政宗公の大河ドラマを誘致する会」への入会の経緯を伺う。

答 町長 過日、伊達氏ゆかりの自治体として、仙台市長からお声掛けがあったことから、本町としても、伊達氏発祥の地であることに加え、大きな経済効果も期待できることから前向きに判断したところである。

問 桑折町の役割と実現に向けた今後の取組を伺う。

答 町長 誘致の会については、大河ドラマ実現に向け、10月開催の設立総会において、署名活動や情報発信、機運醸成イベント等の事業方針を決定したところである。町としては、現在、誘致の会として展開している「100万筆の署名」活動に参画し、町ホームページや役場町民ロビー等において町民の皆様にご協力をお願いしているところである。今後についても、誘致実現に向け、本会が取り組む事業はもとより、近隣自治体と連携して機運醸成等に努めていく。





こおりまち

桑折町


KOORI TOWN OFFICIAL WEBSITE


献上後の郷


 **KOORI**




【署名募集中】「伊達政宗公の大河ドラマを誘致する会」について

 いいね！

 シェアする

 ポスト

 LINEで送る

更新日：2025年11月12日

概要

伊達政宗公没後400年となる2036年（令和18年）に伊達政宗公の生涯をテーマとしたNHK大河ドラマの放送を目指して、本町を含む52の関係自治体と9の関係団体が参画して本会が設立されました。

今後は、誘致に向けた機運醸成や地域経済活性化に寄与するため、各団体において相互に連携を図りながら、大河ドラマの実現に向けて取り組んでいきます。

署名活動

本会ではドラマ誘致に向けて、徳川家康公が政宗公に与えた覚書「百万石の御墨付」にちなみ、「**100万筆の署名**」を目指して活動を行っています。

つきましては、下記申請フォームよりオンラインで署名いただけますので、大河ドラマ実現に向け、皆様のご協力をお願いいたします。

町ホームページで署名募集中



伊達政宗公の大河ドラマを誘致する会

伊達政宗公の大河ドラマを誘致する会



鈴木 隆志 議員

質問 エンディングノートの活用に向け

答弁 活用に向け今後普及に努めていく



これからのことを考え記入に挑戦

「終活について」これからの人生を考えよう」の成人講座が開催されたことから、「終活」支援について。

問

今回開催された講座に定員を超える参加者があり大変好評であったことから、今後において、講座を開催していく考えは。

答

教育長

参加者があり大変好評であったことから今後にも引き続き開催していく。

問 高齢者に対しての終活支援についての考えは。

答 町長

地域包括支援や医療介護連携の枠組みの中で必要な情報提供や相談支援を通し進めていく。

問

エンディングノートの提供と活用の促進に向けての考えは。

答

町長

エンディングノートの配付は考えていないが、無料ダウンロードするなど活用していくよう今後の普及に向け努めていく。

質問 感震ブレーカーの普及に向けて

答弁 有効性について周知していく

地震による火災対策として、地震時に特定以上の揺れを感じた時に電気を自動的に止める感震ブレーカーの普及について。

問

感震ブレーカーの普及に向けての対応は。

答

町長

感震ブレーカーについては、その有効性について町ホームページ等にて啓発していく。

問

感震ブレーカーの購入設置に対する町の補助金支給の考えは。

答

町長

感震ブレーカーは、安価で相当な効果をもたらすことができる認識している。まずは、自己責任の中で取り組み浸透していくよう啓発に努めていく。

問

感震ブレーカーの設置に向け補助金を支給している自治体があるが。

答

町長

国でも補助金を開始することから、他自治体の動向なども踏まえ今後、研究していく。

これも 質問

問

どのような基準で図書室の本を選定するのか

問

硬プラ、分別回収・リサイクル実施予定は令和11年度までの実施に向け進めて行く

問

伊達崎マルシェ以外での開催予定の考えは開催場所を含め内容を再検討する必要がある

答

答

答

質問 義務教育の将来像は

答弁 15歳のめざす姿の具現



はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員

一般質問

問 蛍光灯生産終了に伴う、小中学校の教室・廊下等の照明設備のLED化の進捗状況を伺う。

答 教育長

照明のLED化については、避難所機能を担っている体育館において先行して実施したところであり、今後、計画的に整備を進めていく。

問 家庭・地域と学校が連携して子どもを育てるための

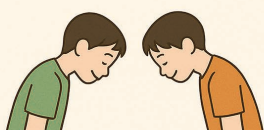
仕組みを、どのように構築していくのかを伺う。

答 教育長

連携は、教育の基盤となる重要なものであり、今後、学校運営協議会の設置を検討し、地域住民が「地域でどんな子どもを育てたいか」という目標やビジョンを共有し、学校運営方針の承認など、学校運営に意見を反映できるよう、具体的に検討を進めていく。

15歳のめざす姿

a) 礼儀を重んじる



b) 思いやり豊かで協働する



c) 生きる意欲を持ち挑戦する



d) 目標をもち学び続ける



めざす15歳の姿

質問 公共施設のコンパクト化は

答弁 慎重な対処が必要となる

問 少子高齢化、人口減少を見通し、県内自治体の公共施設の保有・更新・統廃合が喫緊の課題であることが新聞報道された。本町における統廃合等の計画があるのかを伺う。

答 町長

公共施設については、適性に管理しているものの、将来にわたる課題や影響について検討・整理を行ううえで、個別施設計画を定めて対処していく。

答 町長

関連施設の維持管理費は年々増加して

小中学校5施設、学童施設4施設、図書館1施設を一つの複合施設とした場合の算定と、現状維持との比較を伺う。



新たな公共施設のイメージ

いる。令和6年度決算では小中学校費、放課後児童クラブ費、よもゝ運営費、総計147,997千円となっている。今後、現状維持を続ける場合、老朽化に伴う大規模修繕など膨大な費用が必要。義務教育学校については、今後の検討により決定されていく。現状よりは大幅に圧縮できる見込みである。



さとう たけろう
佐藤 武朗 議員

質問 熊対策！高速西側エリア重点的に

答弁 放任果樹伐採着手、速やかに実施

問 東北自動車道は市街地への熊の侵入防止の役割を果たしている。初期の重点対策は、西側エリア集落周辺を重点的に実施すべきと考えるが。

答 町長

目撃や出没、捕獲が西側エリアに集中。当該地域を重点地域と位置づけ、緊急対策として、誘因物となる放任果樹の一斉伐採、ヤブ刈り払いのため重機等に係る予算を専決処分、速やかに着手。

フ草刈り機を発注した。

問 熊対策の年次計画に、生活圏と山側の境界付近に緩衝帯の整備が必要。人命および地域の安全のため、住民や地権者の理解を得ながら進めべきでは。

答 町長

緩衝帯は効果がある。予算の確保や地権者の理解醸成が不可欠である。当面、侵入防止柵周辺の刈り払いを強化。

問 日々、住民は熊への不安を抱いている。山に近い住居周辺のヤブの刈払いは重機等を用いて早期に実施すべきでは。

答 町長

受託業者の作業の効率化のため、バックホウに装着するハンマーナイ



今後も放任果樹の点検を

質問 地域おこし協力隊の立ち上げを

答弁 新年度予算に関連費用を計上予定

問 これまでも「桑折まちづくりネット」を受け皿とした地域おこし協力隊の導入を提案してきた。この度、一般社団法人を立ち上げたことはより広範な活動が可能となる。「空家等管理活用支援法人」としての役割も担うことも可能。専門的かつ広域的な業務に対し、民間の知見や専門性を活かすことが期待されるが。

答 町長

年内中に「空家等管理活用支援法人」に指定、空家解消に向けた連携強化。「地域おこし協力隊」については、来年度から空家対策に取り組んでもらうべく、新年度当初予算に関連費用を計上予定。

これも質問

問

インター周辺の三角地開発事業の進捗状況は現時点での説明困難、公表できる段階に説明

答

質問 町民の記憶に残る事業となったか

答弁 心ひとつに目的は達成できた



かわ な しず こ
川名 静子 議員

一般質問

- 「桑折人としての気概と誇りを共有し、心一つに『花咲く未来』に向かう大きな一歩を踏み出す年にする」との目的から開催された楽市・楽座in山車フェスの効果は。
- 問** 心一つを意味するのは町と町民全てか。
- 答** 町長 住み続ける町民とベクトルを合わせ同方向へいく呼びかけだ。
- 問** 来場者への配慮に問題はなかったか。
- 答** 町長 晴天であったがゆえに日除けスペースが不足した。
- 問** 町民参加特に子供たちの参加は会場を盛り上げてくれたが、山車が出ない地区の関心度をどう捉えたか。
- 答** 町長 山車の引手に参加応援する等町内全域から来場されたと捉えた。
- 問** 今後2年間県として実施されるが、町民参加型にすることで将来まで思い出に残り町政へも関心が高まるのでは。
- 答** 町長 全町での取組をさらに「シンカ」させる。
- 問** 総事業費1千万円をかけた町のPR効果は。
- 答** 町長 来場者の約40%が町外からであることから関係・交流人口拡大になったと捉える。

桑折町の明るい未来を託せる
元気な桑折っ子



これも 質問

質問 町内会長の負担軽減策を図っては

答弁 配布等のあり方を次年度調査する

- 担い手不足は地域と行政を繋ぐ重要な組織である町内会にも起きていて担う役割は増えるばかり。デジタル等を取り入れる事で負担軽減は図られないか。
- 問** 町内会長の役割とは。
- 答** 町長 情報文書の配布、生活道水路等の要望取りまとめ、除雪時の対応等町民と町を結ぶパイプ役だ。
- 問** デジタルを活用し配布物の受け取りを選択制にしてはどうか。山車での配布はクマから人命を守る策が必要だ。
- 答** 町長 選択も視野にあり方を次年度アンケートで調査を実施する。

問

住民自治協の活動は設立目的を果たせてるか

答

一部、体制や運営方法等見直す必要がある



はねだ 羽根田 ひとみ 議員

質問 現在の取り組みと今後の計画は

答弁 職員研修や町民向け手話教室を

問 9月定例会で手話言語条例が制定された。その後現在の取り組みと今後の計画を伺う。

答 町長

現在、窓口到手話対応職員はいないが、来庁者にはタブレットを活用した遠隔手話通訳により対応している。今後は、県聴覚障害者協会から講師を招いた職員研修を実施し、動画教材の活用も検討しながら、手話への理解と意識向上を図る。

問 学校や町民向けの取り組みは。

答 町長

幼稚園では歌に合わせた手話、小学校では国語や音楽の授業を通して手話に親しんでいる。町民向けには、公民館事業として手話教室を開催予定である。聞こえない・聞こえにくい人の生活理解と基本的な手話を学ぶ機会とする。また、包括連携協定を提携している聖光学院高校の手話部との連携を検討する。



手話の練習をする子ども

これも 質問

質問 町が目指す義務教育学校の特徴は

答弁 柔軟なカリキュラムで地域学習等

問 町の教育環境の現状・課題と義務教育学校設置により期待される効果を伺ったが今後どのような取り組みをお考えか。また、どのような特徴のある学校をお考えか伺う。

答 教育長

義務教育9年間を見通した一貫教育により、系統性と連続性を重視した教育を行う。中学校教員が小学校で授業を行うなど、教員の専門性を活かした指導により学力の定着と、きめ細やかな支援を図る。

問 特色ある教育内容は。

答 教育長

柔軟なカリキュラム編成により、地域学習や体験学習、英語教育、情報活用能力の育成を進め、町の歴史や文化を全ての子どもが共有できる教育を目指す。今後は設置準備委員会を設け、先進校の視察も行い、地域に信頼される学校づくりを進める。



賑やかな学校

答

奨学金返済支援制度、特別交付税措置を使って公平性から実施は難しいと捉えている

問

答

8,000名参加と町民の一体感ある企画だった

問

答

防災スピーカーを使って町民への連絡を有効性が低いと捉えている

問

防犯スピーカーを使って町民への連絡を有効性が低いと捉えている

質問 緊急時の避難対策は万全か

答弁 全町一斉避難訓練を実施した



いし はた まさこ
石幡 政子 議員

一般質問

本町における防災対策の中で緊急時の避難対策について次の3点を伺う。

問 10月19日に実施された全町一斉避難訓練についての検証はどの様になされたか。課題と今後の対策について伺う。

答 町長 今年度の一斉避難訓練は伊達崎地区との共催で実施した。新たに購入した備品などの使用確認をした事で有事において、迅速かつ適切に対応可能となった訓練と捉えている。

問 緊急時避難においての負傷者の救護や寝たきり等の弱者の避難対策について伺う。

答 町長 負傷者の救護については専門的対応が求められる。本人、関係者によ



防災訓練：備えあれば憂いなし

り救急の要請をするところが重要である。要支援者については、関係団体と連携し避難できる体制構築に努めている。

問 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの工事期間が5年延長となったが、本町においてはどの様に捉えているか。

答 町長 プロジェクトの工期が延長になったことは詳細調査により発生した課題に対応するためと聞いている。本町への影響は特にないものと捉えている。

質問 商業部門地域おこし協力隊の応募状況は

答弁 本町の魅力を十分に発信し確保に努める

これも質問

問

答 義務教育学校への移行理由は9年間の教育環境効果が大きい

問 本町における商工業支援対策としての商業部門「地域おこし協力隊」募集について、現在までの状況と今後の方針を伺う。

答 町長 現在まで1件の問い合わせがあったが、決定までは至らなかった。県外のマッチングイベントへの参加や、本町の魅力、を発信し募集している。今後は、受託事業を絞り込みSNSの発信等しながら募集に取り組む。



商店街：商工業の振興対策はまったなし



かわむらしげみち
川村 滋道 議員

質問 本町の熊対策に関し

答弁 専決処分で不要柿伐採対策を行った



所有者の同意を得た伐採予定の柿の木

問

日本共産党議員団として11月6日町長に（1．人命を守る緊急事態の対応

2．熊出没から身を守る情報提供3．緩衝帯形成4．熊の餌となる柿の木対策5．藪払い対策等）の「熊対策緊急申し入れ」を行った。町内の皆様には「民主桑折」で周知した。

答

町長

専決処分です。1,500万余の補正予算を計上し斜面伐採の草刈りアタッチメント購入や360本の不要柿伐採を業者委託し年内完了予定。藪対策についても検討していきたい。

質問 小中学校の在り方検討委員会提言に関し

答弁 義務教育学校を方針で決定した

問

提言は「4校の統合を進めるよう」とあり更に「義務教育学校や小中一貫校といった統合の形も視野に入れる必要があり、保護者・地域住民・行政が一体となって相互理解を深め子供たちに取りより良い教育環境整備に向けた取り組みが図られる事を期待します」とある。又提言では「政策決定後住民の反応によつては柔軟に考えながら進めたい」との事務局見解もあるようだ。教育委員会の方針決定後、町民合意を図るつもりはあ

るのか。

答

教育長

教育委員会としてイニシアを發揮しこの形が一番ふさわしいと町へ政策提言を行った。来年1月から4地区で説明会を開催する。

これも 質問

問

答

1人暮らし高齢者の除雪対応について孤立しないよう対応していきたい

問

答

高齢者の補聴器購入補助について現時点は各自で対応願いたい

問

答

本町の不登校対応について各自の状況に応じ対応しています

質問 提言に反する電光石火の決定だ

答弁 総合的検討の提言を受け決定した



さいとうまつお 齋藤 松夫 議員

問

小中学校のあり方検討委員会は4小学校の統合を提言したが、義務教育学校設置までの提言には至っていない。よって提言時においては「現状維持」「義務教育学校」「小中一貫校」の三つの選択肢が存在していたと承知する。

答 教育委員会基本方針は、幅広い視野と長期的な見通しをもって総合的な検討を行った「小・中学校のあり方検討委員会」の提言を受け、教育委員それぞれの調査・研究や議論を踏まえ、少子化に対応すべく決定したものだ。

質問 緊急対策とともに根本的対策を

答弁 刈払い強化し緩衝帯スペース確保

これも質問

問

問

答

答

農地景観維持事業の補助金実績は
取組件数4件、面積5,404㎡だ
いわゆる「総務課見解」は町長見解なのでは
総務課長が作成し幹部職員で共有した

問

熊被害対策は緊急対策とともに、人と熊の住み分けという根本的対策が重要である。11月14日開催の「熊被害対策等に関する関係閣僚会議決定文書」には、短期的取り組み方針のなかに、「緩衝帯・強固な柵の整備」方針が謳われている。よって町方

答

町長

針の根本的対策のなかに、「緩衝帯と強固な防護柵設置」を謳うことを提言するが、見解はどうか。
熊の侵入については現行の防止柵周辺の刈り払いを強化し、緩衝帯スペースを確保し防止していく。



緩衝帯と電柵・AIで作成



はんざわ たかし
半澤 高 議員

質問 どうする？商店街の街路灯

答弁 組合協議会の意向に沿い対応



商店街を照らす街路灯

問

商店街の街路灯については、5つの街路灯組合により維持管理されており、町から「商工業の振興」を目的に電気料金の一部が補助されている。昨今の商店の減少を見る限り、街路灯のあり方について考えるべき時期にきているのではないか。

答

町長

街路灯については、「桑折町街路灯組合協議会」が、商店街の活性化と夜間の犯罪や事故を未然に防止する安全・安心なまちづくりを目的に平成27年度に全国商店街振興組合連合会の補助金等を活用し更新を行ったもの。現在、「防犯灯」(15灯)については町へ寄贈意向があることから、今後協議会の意向に沿った形で対応してまいりたい。

質問 どう活かす？街のランキング

答弁 引き続き魅力あるまちづくり推進

問

今年も建物賃貸事業最大手企業の調査による「街の幸福度ランキング」(県内3位)「住み続けたい街ランキング」(県内1位)の発表があった。①調査結果を今後

答

町長

のまちづくりにどう活かすのか。②イオンモール伊達の開業を控え、テナント等で働く多くの人が桑折町に住んでもらう方策は考えているのか伺う。

①町民の更なるシビックプライドの醸成を図り、町ホームページやSNSで発信し、移住・定住の促進につなげていく。また、引き続き高い評価が得られるよう「桑折ならでは」の事業に磨きをかけ、魅力あるまちづくりを推進する。②民間による賃貸住宅の提供に期待するとともに、イオンモールを通して、町独自の施策の周知に努め、移住・定住の促進を図りたい。

これも 質問

問

問

答

答

町各施設の熊対策マニュアルは公共施設各所において整備済み
エリザベスタウン市とのその後のやりとりはメッセージ送信するも返信なし